

銅・アルミレポート

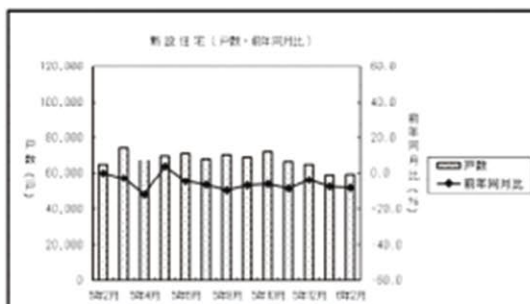
橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎

3月の銅の概況および4月の見通し (2)

予想レンジ

LMEセトル	8,400-9,100ドル	●
建値	128万円-143万円	●
為替	148円~153円	円安

(1か月間TTM)



### 新設住宅(戸数・前年同月比)

#### ◆貿易関連指標

#### 銅

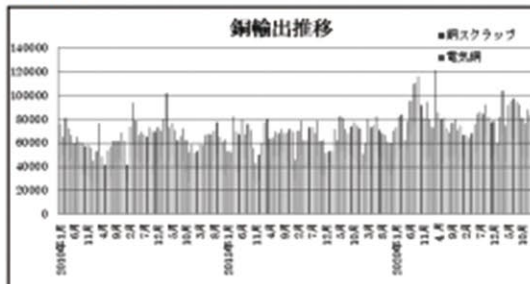
#### 【輸出】

電気銅は+11.6%の6万3,539 t。

スクラップは+12.4%の2万7,818 t。

輸出	12月	1月	2月
電気銅	4万7539 t	5万8092 t	6万3539 t
前年比	-5.6%	+31.1%	+11.6%
スクラップ	4万562 t	2万5632 t	2万7187 t
前年比	+45%	+65.3%	+12.4%

#### 輸出推移



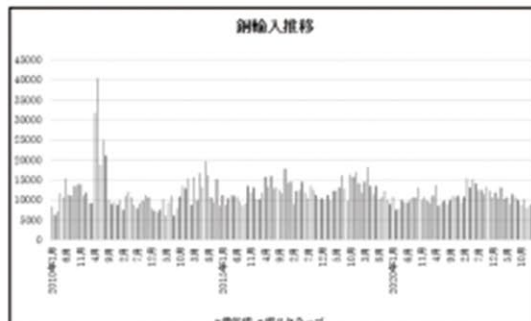
#### 【輸入】

電気銅は+1,085%の1,009 t。

スクラップは-23.4%の7,917 t。

輸入	12月	1月	2月
電気銅	22 t	596 t	1009 t
前年比	-21.4%	+358%	+1085%
スクラップ	7986 t	8200 t	7917 t
前年比	-25.1%	-30.7%	-23.4%

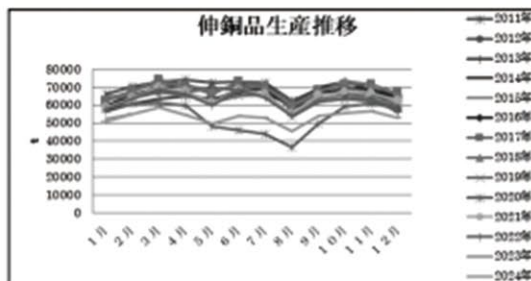
#### 輸入推移



#### ■前月の国内指標

#### 【伸銅品生産】

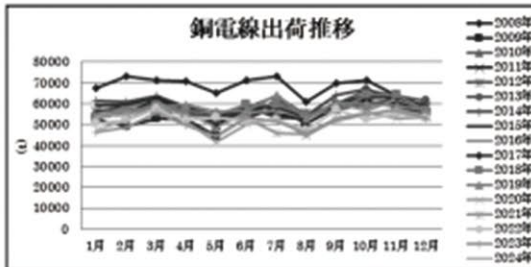
2月伸銅品生産量速報値は5万4,820トン、前年同月比1.3%減少。半月の生産量としては、前年同月比で26か月連続のマイナスとなった。ただ、同月のマイナス幅は、急速に縮小し、そろそろプラスに転じることもあり得るところまで回復してきている。



#### 【日本電線工業会発の出荷速報(推定)】

前年比+5.2%の52,000 t。

内訳は国内が+5.2%、輸出が+449.5%。



(次頁へ)

日刊金属 既刊収録サイト


<https://nikkankinzoku.co.jp/>

## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると2月の自動車生産台数は前年比-16.1%の58万8,354台。輸出は前年同月比+13.7%の33万2,992台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-19.9%の30万3,216台。

## 【伸銅品生産】

やはり自動車向け、特に端子コネクタの需要が全体の押し上げを支えている。また、銅管も需要期に入り、少し増加気味になり、今後の回復が期待される。

昨年末の品質不正問題に関連する自動車生産の減少は、伸銅品メーカー側でも少し影響が見えてきたが、生産中止期間が短いことから、伸銅協会でも、これ以上の影響を受けないと考えている。

**銅条**：同比18ヶ月連続マイナス。まだマイナスだが、マイナス幅は小さく、ほぼ前年並みの生産量に回復してきた。引き続き車載向けの半導体とコネクタの好調が支えている。デジタル家電など数量の出る民生用半導体のリードフレームの需要回復が本格回復に向けてネックになっている。スマートフォンは、米国、中国、韓国メーカーの新型モデルが良い方向に進んでいる。

**黄銅棒**：同比26ヶ月連続マイナスだが、マイナス幅の縮小が続いている。住宅着工件数が伸びず、住宅設備関連の需要の回復が遅れている。ただ、ガス機器と特定用途の水栓機器の需要が改善してきた。昨年終盤からLPGガスの国の検査に伴う需要増加が見られたが、こちらはそろそろ終了しそう。

## 【電線】

前年比+5.2%の52,000 t。

内訳は国内が+5.2%、輸出が+449.5%。

## 【輸出】

電気銅は+11.6%の6万3,539 t。

スクラップは+12.4%の2万7,818 t。

## 【輸入】

電気銅は+1,085%の1,009 t。

スクラップは-23.4%の7,917 t。

## 【見通し】

## 【自動車】

2月の自動車生産が-16.1%。3月国内販売台数が前年比-19.9%。3か月連続減少。前月に続きダイハツ トヨタ問題による生産販売低迷、そろそろ回復との予想。

## 【伸銅品生産】

マイナス幅は、急速に縮小し、そろそろプラスに転じることもあり得るところまで回復してきている。

## 【電線】

2か月連続プラス 今後に注視。

## 【スクラップ景況予想】

流通【一次問屋】銅建値が131万から139万と上昇傾向だった。在庫は伸銅品生産減、発生減から在庫薄、需要面に関してはやや引き締め。自動車生産量は26か月連続減少だが回復期待から。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

## ①米FRBの金融政策

米経済指標が好調な結果を示していることを受けて3月29日にFRBのパウエル議長が米「利下げを急ぐ必要はない」と述べていた。製造業指数の改善を受けて利下げの時期が遠のくとの観測。

## ②中国景気

国家統計局が31日発表した3月の製造業購買担当者指数(PMI)は50.8。2月が49.1、50.8という水準は昨年3月以来の高さ。建設業とサービス業を対象とする非製造業PMIも53と2月の51.4から上昇。多少回復の兆しあり。これらを踏まえた今月の銅価格は8,400~9,100ドル(セツル)との予想。ドル円値は148円~153円(TTM)台を予測。銅建値に関しては128万~143万円程度と予測している。

(「3月の銅の概況および4月の見通し」おわり)

## LME公式値週間推移 3月25日~3月28日(現地)

